

第8回鮎川信夫賞受賞

記念講演

書くことは読むこと

—— 詩作 50 年の風景



撮影・長見有方

講師 荒川洋治氏(現代詩作家)

高校時代の詩誌「とらむぺっと」創刊から、詩集『娼婦論』『水駅』『あたらしいぞわたしは』、さらに『荒川洋治全詩集』刊行を経て、『心理』『北山十八間戸』まで、半世紀の軌跡を振り返る。セルバンテス『ドン・キホーテ』、チャーホフ『谷間』、アーサー・ミラー『存在感のある人』、蔵原伸二郎『岩魚』、後藤明生『挟み撃ち』など名作との出会いについても語りたい。(荒川洋治)

荒川洋治(あらかわ・ようじ)

1949年、福井県三国町(現・坂井市)生まれ。早稲田大学第一文学部卒。

詩集／『水駅』(第26回H氏賞)、『渡世』(第28回高見順賞)、『空中の茱萸』(第51回読売文学賞)

『心理』(第13回萩原朔太郎賞)、エッセイ・評論集／『忘れられる過去』(第20回講談社エッセイ賞)、『文芸時評という感想』(第5回小林秀雄賞)、『詩とことば』(岩波現代文庫)など。

2016年、評論集『過去をもつ人』(みすず書房)で、第70回毎日出版文化賞書評賞を受賞。

2017年、詩集『北山十八間戸』(気争社)で、第8回鮎川信夫賞を受賞。

日時 平成29年7月17日(月・祝)

14:00~16:00(開場13:30)

会場 福井県立図書館 多目的ホール

定員 100名

※定員に達しましたので、受付は終了しました。
同日、講演のライブ中継をご覧いただける
サテライト会場を設けます。
(申込不要・入場無料・会場：研修室)

お申込み・お問合せ

福井県ふるさと文学館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 福井県立図書館内

TEL: 0776-33-8866

E-mail: bungakukan@pref.fukui.lg.jp

http://www.library-archives.pref.fukui.jp



福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE

ふるさと文学館